

次世代へ快適な環境を

SANIX

証券コード：4651

2020年3月期 決算説明資料

株式会社サニックス
2020年5月14日

Copyright© SANIX INCORPORATED

1. 2020年3月期 決算概況

P.3

2. 2021年3月期 事業環境

P.15

【免責事項】

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定買取制度」の動向および当該制度に関わる電力会社の動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

(注)

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の“△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは100%を超える値の場合「-」で表示しております。

2020年3月期 決算概況

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期				
	実績	実績	前期比	前期差異	計画	計画差異
売上高	50,719	52,531	103.6%	+ 1,811	51,082	+ 1,448
売上総利益 (売上高売上総利益率)	14,830 29.2%	17,556 33.4%	118.4%	+ 2,726	17,556 34.4%	△ 0
営業利益 (売上高営業利益率)	1,224 2.4%	2,791 5.3%	227.9%	+ 1,566	2,550 5.0%	+ 240
経常利益 (売上高経常利益率)	1,182 2.3%	2,592 4.9%	219.2%	+ 1,409	2,330 4.6%	+ 261
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高当期純利益率)	240 0.5%	1,850 3.5%	770.7%	+ 1,610	1,808 3.5%	+ 41

Copyright© SANIX INCORPORATED

3

【売上高】

SE、HS、ES及び環境資源開発事業部門がそれぞれ増収となったことで、グループ全体の売上高は52,531百万円(前期比3.6%増)となりました。

【利益】

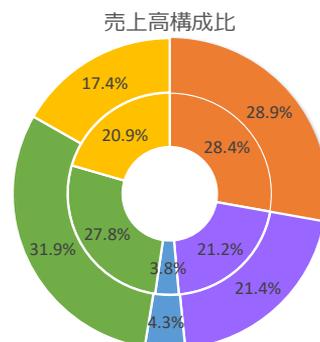
前期は北海道胆振東部地震の影響により利益が減少したため、その反動が大きく増益となりました。

グループ全体の損益は、2,791百万円の営業利益(前期比127.9%増)、2,592百万円の経常利益(前期比119.2%増)となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は1,850百万円(前期比670.7%増)と大きな伸びとなりましたが、これは前述の地震災害の復旧費用として特別損失を472百万円計上したことが影響しております。

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期	
	実績	実績	前期比	計画
売上高	50,719	52,531	103.6%	51,082
S E 部門	14,427	15,195	105.3%	13,177
H S 部門	10,752	11,235	104.5%	11,348
E S 部門	1,926	2,261	117.4%	2,194
環境資源開発部門	14,116	16,759	118.7%	16,290
エネルギー部門	10,609	9,132	86.1%	10,251
セグメント間の 内部売上高調整額	△1,113	△2,053	—	△2,180
営業利益	1,224	2,791	227.9%	2,550
S E 部門	1,204	901	74.9%	894
H S 部門	2,231	2,061	92.4%	2,032
E S 部門	287	281	98.1%	228
環境資源開発部門	423	3,483	821.7%	2,874
エネルギー部門	412	△485	—	102
配賦不能	△3,335	△3,452	—	△3,581



■ SE ■ HS ■ ES ■ 環境資源 ■ エネルギー
内輪：2019/3期 累計
外輪：2020/3期 累計

・2019/3期の「環境資源開発部門」「エネルギー部門」および「セグメント間の内部売上高調整額」は、2020/3期との比較のため組み替えて表示しております。

Copyright© SANIX INCORPORATED

4

【売上高】

売上高構成比は苦小牧発電所が通年稼働したことなどにより、環境資源開発部門が増加しました。

【営業利益】

上述の通り、苦小牧発電所が通年稼働したほか、「プラスチック燃料」「有機廃液処理」「埋立処理」もそれぞれ増益となりました。

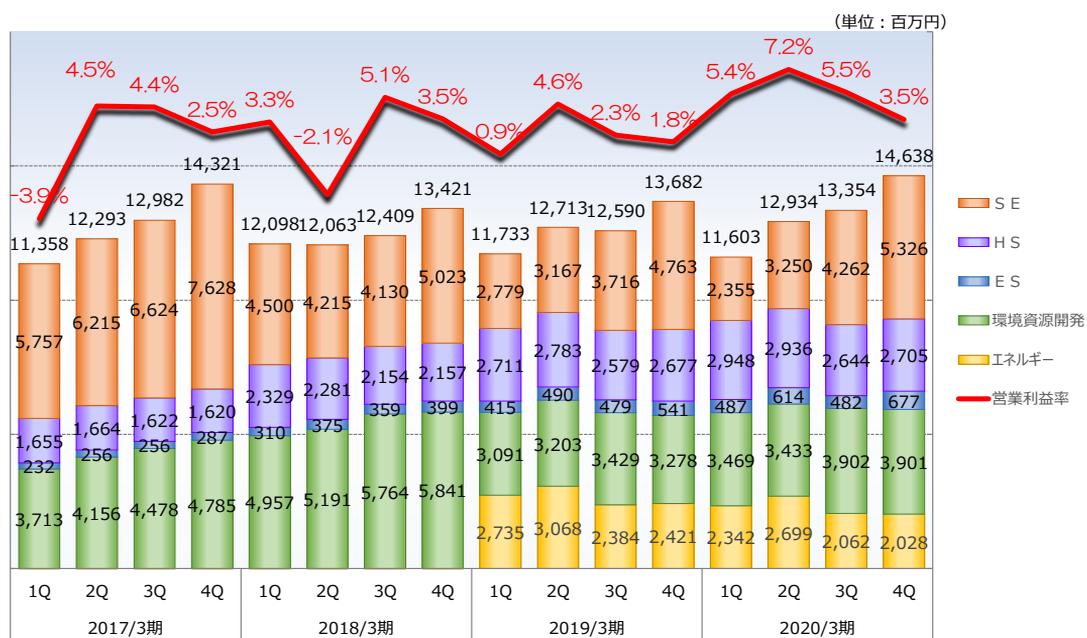
また、SE部門は材料費に棚卸資産評価損を644百万円計上したことにより、減益となりました。

エネルギー事業部門は、前期の黒字に対し大幅減益となり赤字となりました。

【参考】
セグメント別売上高の推移

次世代へ快適な環境を

SANIX



・「セグメント間の内部売上高調整額」は環境資源開発の売上高から差し引いております。

Copyright© SANIX INCORPORATED

5

四半期の売上高の推移は上表の通りです。

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高	14,427		15,195		105.3%	13,177	
施工売上	13,661	94.7%	14,807	97.4%	108.4%	12,812	97.2%
卸販売	578	4.0%	269	1.8%	46.7%	246	1.9%
その他	188	1.3%	117	0.8%	62.6%	118	0.9%
売上原価	9,740	67.5%	10,886	71.6%	111.8%	8,796	66.8%
うち、材料費等	5,978	41.4%	6,711	44.2%	112.3%	5,290	40.1%
うち、労務費	1,018	7.1%	715	4.7%	70.2%	687	5.2%
売上総利益	4,687	32.5%	4,308	28.4%	91.9%	4,380	33.2%
販売費・一般管理費	3,482	24.1%	3,406	22.4%	97.8%	3,486	26.5%
うち、人件費	1,724	12.0%	1,878	12.4%	108.9%	1,896	14.4%
営業利益	1,204	8.4%	901	5.9%	74.9%	894	6.8%

Copyright© SANIX INCORPORATED

6

【売上高】 15,195百万円(前期比5.3%増)

縮小傾向が続いていた太陽光市場が下げ止まりを見せ、前期に対し上向きに転じました。

当社においても、FIT価格の低下に対応した販売価格への見直しや、土地をお持ちでない投資家向けの「土地付き太陽光発電システム」の販売等新しい販売手法を推進してまいりました。

【営業利益】 901百万円(前期比25.1%減)

営業損益は、増収や材料原価の低減により利益が増加しました。

一方で、自社製パワーコンディショナに係る棚卸資産について減損処理を行うこととし、棚卸資産評価損として644百万円を計上いたしました。これは、2020年度のFIT制度から10kW以上50kW未満の全量売電が廃止され自家消費を前提とした余剰売電となったことを受け、販売予測を見直し回収可能性を勘案したためであります。

この結果、前期に対して減益となりました。

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高	10,752		11,235		104.5%	11,348	
白蟻防除施工	3,441	32.0%	3,547	31.6%	103.1%	3,603	31.8%
床下・天井裏換気システム	1,799	16.7%	2,497	22.2%	138.8%	2,328	20.5%
基礎補修・家屋補強工事	2,126	19.8%	1,881	16.7%	88.4%	2,024	17.8%
その他	3,384	31.5%	3,308	29.4%	97.7%	3,393	29.9%
売上原価	4,380	40.7%	4,488	39.9%	102.5%	4,590	40.4%
うち、労務費	1,373	12.8%	1,606	14.3%	117.0%	1,628	14.3%
売上総利益	6,371	59.3%	6,746	60.1%	105.9%	6,758	59.6%
販売費・一般管理費	4,139	38.5%	4,684	41.7%	113.2%	4,725	41.6%
うち、人件費	2,540	23.6%	2,911	25.9%	114.6%	2,949	26.0%
営業利益	2,231	20.8%	2,061	18.4%	92.4%	2,032	17.9%

Copyright© SANIX INCORPORATED

7

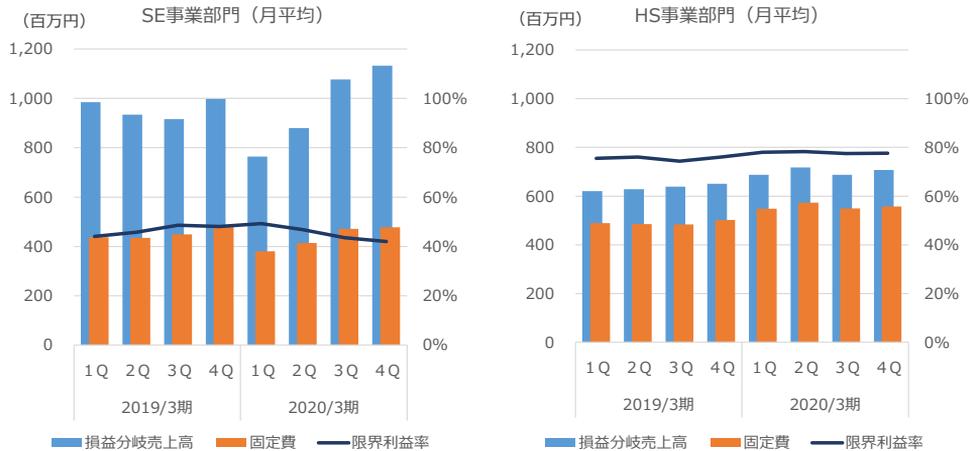
【売上高】 11,235百万円(前期比4.5%増)

採用により人員増を図り、営業拠点を2カ所(唐津営業所、大村営業所)新設する等、一般家屋に係るメンテナンス提案をきめ細かく行えるよう営業及び施工体制を強化してまいりました。

この結果、「白蟻防除施工」が前期比3.1%増、「床下・天井裏換気システム」が同38.8%増となりました。

【営業利益】 2,061百万円(前期比7.6%減)

増収となったものの、業容拡大を目的とした人員増によって人件費等のコストが増加し、前期に対して減益となりました。



変動費のうち材料費に棚卸資産評価損として、2019/3期の第4四半期に152百万円、2020/3期の第4四半期に644百万円をそれぞれ計上しているが、限界利益の計算上では影響を除いている。

【SE部門】

土地付き太陽光発電の販売の増加に伴い外注加工費の売上高比率が上昇しており、限界利益率が低下傾向にあります。また、土地取引に伴う手続き費用等が増加しており、固定費が増加しております。

【HS部門】

高い限界利益率を維持できており、今後も安定した収益基盤を築いていきます。

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高	1,926		2,261		117.4%	2,194	
売上原価	933	48.4%	1,072	47.4%	115.0%	1,064	48.5%
うち、労務費	215	11.2%	256	11.3%	118.9%	254	11.6%
売上総利益	993	51.6%	1,188	52.6%	119.7%	1,130	51.5%
販売費・一般管理費	706	36.6%	907	40.1%	128.5%	901	41.1%
うち、人件費	418	21.7%	538	23.8%	128.6%	561	25.6%
営業利益	287	14.9%	281	12.5%	98.1%	228	10.4%

Copyright© SANIX INCORPORATED

9

【売上高】 2,261百万円(前期比17.4%増)

採用により人員増を図り、営業拠点を1カ所(さいたま事業所)新設する等、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係を強化してまいりました。

この結果、主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前期比21.3%増となったほか、「建物防水塗装補修施工」が前期比55.3%増となりました。

【営業利益】 281百万円(前期比1.9%減)

増収となったものの、業容拡大を目的とした人員増により人件費等のコストが増加したため、前期に対して減益となりました。

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高	14,116		16,759		118.7%	16,290	
プラスチック燃料	8,615	61.0%	10,111	60.3%	117.4%	9,719	59.7%
発電所売上	2,107	14.9%	3,023	18.0%	143.5%	3,240	19.9%
有機廃液処理	1,958	13.9%	1,968	11.7%	100.5%	1,951	12.0%
埋立処理	788	5.6%	1,122	6.7%	142.4%	843	5.2%
その他	646	4.6%	533	3.2%	82.5%	535	3.3%
売上原価	11,955	84.7%	11,375	67.9%	95.1%	11,530	70.8%
うち、労務費	1,630	11.6%	1,820	10.9%	111.6%	1,821	11.2%
売上総利益	2,160	15.3%	5,384	32.1%	249.2%	4,760	29.2%
販売費・一般管理費	1,736	12.3%	1,901	11.3%	109.5%	1,885	11.6%
うち、人件費	898	6.4%	1,067	6.4%	118.8%	1,045	6.4%
営業利益	423	3.0%	3,483	20.8%	821.7%	2,874	17.6%

Copyright© SANIX INCORPORATED

10

【売上高】 16,759百万円(前期比18.7%増)

受入物件の精査等により廃プラスチック類の受入量が減少しましたが、採算性と品質向上を重視したことにより「プラスチック燃料」売上高は前期比17.4%増となりました。

苫小牧発電所は、前期の第3、第4四半期(2018年9月～2019年3月)にかけて北海道胆振東部地震の被害により6か月間稼働停止となっていた反動により、「発電所売上」が前期比43.5%増となりました。

また、「埋立処理」についても前期比42.4%増となりました。

【営業利益】 3,483百万円(前期比721.7%増)

廃プラスチック類及び有機廃液処理における受入物件の精査による採算性と品質向上のほか、苫小牧発電所の稼働日数の増加、埋立事業の増収等により大幅な増益となりました。

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高	10,609		9,132		86.1%	10,251	
売上原価	9,992	94.2%	9,203	100.8%	92.1%	9,724	94.9%
うち、材料費	9,325	87.9%	8,795	96.3%	94.3%	9,265	90.4%
売上総利益	616	5.8%	△71	-	-	527	5.1%
販売費・一般管理費	204	1.9%	413	4.5%	202.2%	425	4.1%
うち、人件費	107	1.0%	228	2.5%	212.8%	224	2.2%
営業利益	412	3.9%	△485	-	-	102	1.0%

Copyright© SANIX INCORPORATED

11

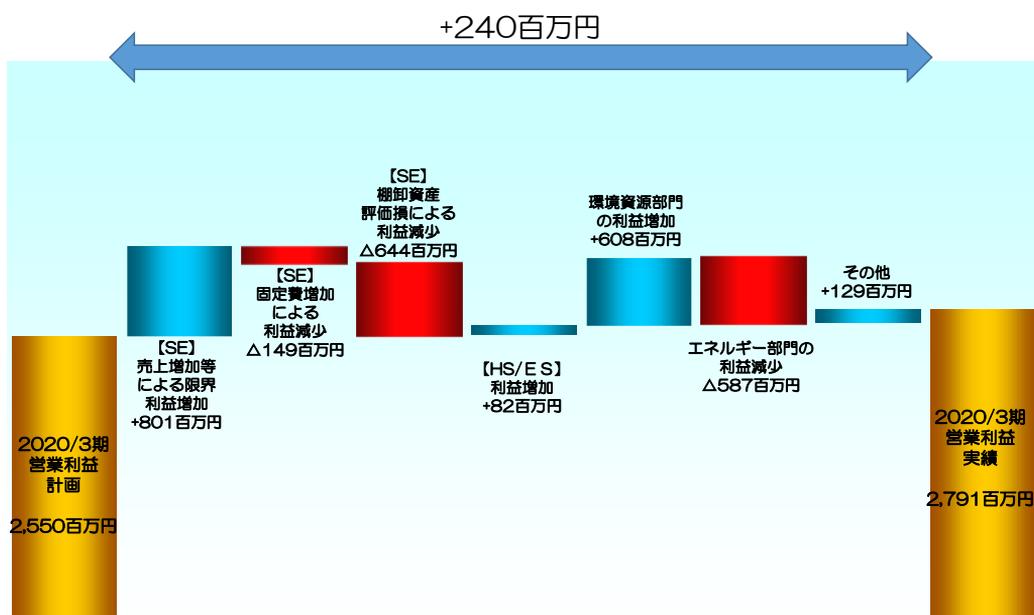
【売上高】 9,132百万円(前期比13.9%減)

新電力事業において高圧契約件数の減少等による小売販売額の減少、および卸取引市場(JEPX)の取引価格の低下により卸販売単価が低下したため売上高は減少しました。

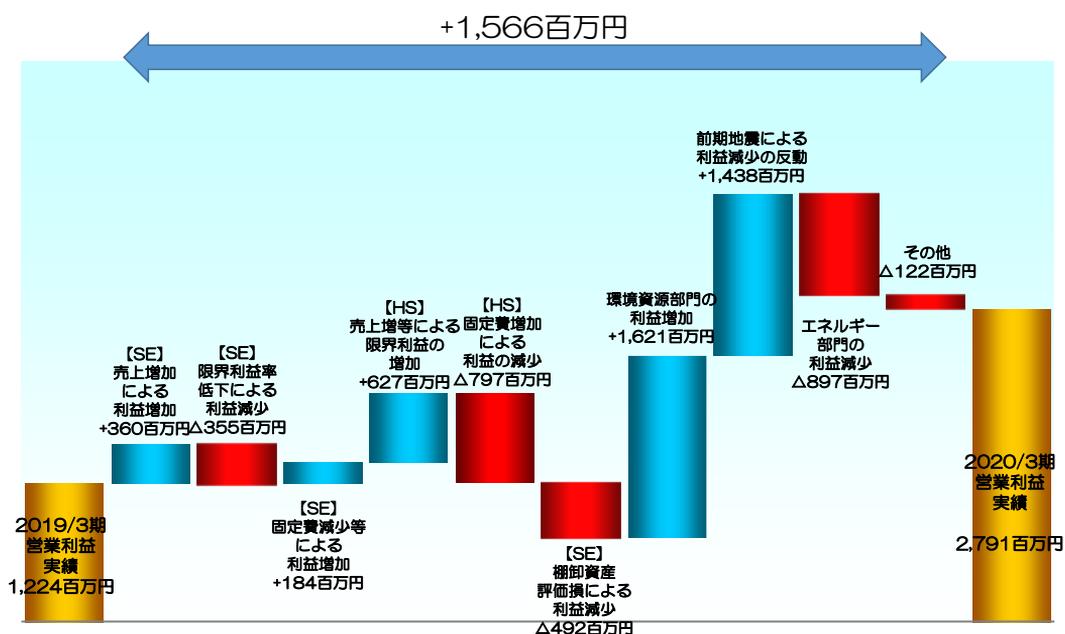
他社との提携による太陽光発電と電力小売りをセットにした事業についても立ち上げましたが減収分を補うまでには至りませんでした。

【営業損失】 △485百万円(前期は412百万円の営業利益)

売上高の減少や、卸販売比率の上昇による利益率の低下等の影響により大幅な減益となりました。



営業利益の修正計画と実績の差異をまとめると上図の通りとなります。



営業利益の前期実績と当期実績の差異をまとめると上図の通りとなります。

2021年3月期 事業環境

当社事業部への影響

新型コロナウイルス感染対策の基本的対処方針
「三 新型コロナウイルス感染症対策の実施に関する
重要事項(3)まん延防止」

	直近、足元の状況	長期化した場合の懸念
S E 事業部門		<ul style="list-style-type: none"> 融資審査の厳格化 設備投資意欲の減退
H S 事業部門	<ul style="list-style-type: none"> 訪問販売活動への影響 施工スケジュールの延期 	
E S 事業部門	<ul style="list-style-type: none"> 提携企業（管理会社・不動産会社等）の活動休止 	
環境資源開発事業部門		<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物排出元の工場稼働が停滞
エネルギー事業部門		<ul style="list-style-type: none"> 供給契約先の事業活動が停滞 新規営業活動に制限
本社部門		<ul style="list-style-type: none"> 機能分散、在宅勤務実現のためのシステム投資前倒し

外出自粛（「最低7割、極力8割程度の接触機会の低減」等）

催物（イベント）の開催制限

施設の利用制限等（都道府県は感染拡大のおそれのある施設の利用制限を要請）

職場への出勤等（テレワーク、時差出勤等の推進）

学校等の取扱い（臨時休校について）

水際対策

クラスター対策の強化

その他共通的事項等（地域特性に応じた対策の実施）

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による国内経済及び当社業績に与える影響に関しまして、現時点では合理的な算定が困難であることから未定としております。今後、予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

各事業部門において影響を受ける可能性があります、特にHS部門については、お客様のお宅へ訪問する「訪問販売」の形態をとっていることから、今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響を最も受ける事業であると認識しております。

当社の事業活動については、新型コロナウイルス感染拡大の状況、及び政府・地方自治体からの要請等の状況を踏まえて、柔軟に対応してまいります。

- FIT制度で小規模事業用太陽光（10～50kW）に「自家消費型」の要件が設定され、全量売電から「自家消費 + 売電」への移行が始まる

	2019年度	2020年度	買取期間
10kW未満	24円※	21円	10年
10～50kW		13円 + 税	20年
50～250kW	14円 + 税	12円 + 税	
250～500kW		入札	
500kW以上	入札		

10～50kWの「自家消費型」の要件

- 発電電力の少なくとも30%の自家消費等を行うこと
- 災害時に活用するための最低限の設備を備えること

※出力制御対応機器設置義務あり 26円

- 他社と提携を進め余剰売電案件の獲得を図るとともに、「自家消費型」の太陽光発電についても展開してまいります



創エネ × 蓄エネ × 省エネ
 “これからは、「つくって、ためて、上手につかう」時代。”
 「エネカリ」なら
 初期費用0円で実現できます。

TEPCOホームテック株式会社（東京電力グループ会社）の「エネカリ」の販売・施工を実施（余剰売電）

当社のSE事業は、太陽光発電で発電した電力を「全量買取」することを前提としたFIT制度により投資商品として拡大してまいりました。FIT制度は今年度より「自家消費」を前提とした制度設計となったため、商品コンセプト、提案内容が大きく変わるものと想定しております。

2021年3月期の営業活動については、前半は既に2020年3月期までにFITの申請を行い、審査中もしくは認定を受けている土地付き太陽光発電案件の施工・販売が中心となりますが、後半からは徐々に自家消費案件の増加を図るといった移行期になると考えております。

中長期的には環境負荷の低減並びに電気代低減を実現できる「自家消費」型の太陽光発電が普及・浸透していくものと考えております。

主な投資の概要		金額
環境資源開発部門	工場設備更新 等	760百万円
	有機廃液処理 設備更新 等	300百万円
	埋立処分場 増設（2022年3月期稼働予定）	700百万円
本社部門	情報システム刷新（効率化）	250百万円

【設備投資】

環境資源開発部門においてプラスチック燃料工場における設備の更新・入替を中心に、2022年3月期に使用開始予定の苫小牧の埋立処分場の増設地の建設を行ってまいります。

本社部門では、業務効率化を目的とした基幹システムの入替等の情報システム投資を行います。

なお、投資以外に2021年3月期は苫小牧発電所においてボイラーの法定点検を第4四半期に予定しております。

【参考】
決算データ集
(2020年3月期実績)

1. 連結損益計算書

次世代へ快適な環境を

SANIX

(1) 四半期推移

(単位：百万円)

区 分	2020年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	実 績	実 績	実 績	実 績
売 上 高	11,603	12,934	13,354	14,638
売 上 原 価	7,339	8,335	8,957	10,341
売 上 総 利 益	4,263	4,599	4,397	4,296
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,640	3,670	3,664	3,789
営 業 損 益	623	928	732	506
営 業 外 収 益	33	38	33	58
営 業 外 費 用	56	137	107	61
経 常 損 益	600	829	658	504
特 別 利 益	—	—	—	—
特 別 損 失	—	—	—	—
税 引 前 当 期 純 損 益	600	829	658	504
法 人 税 等 合 計	165	126	268	185
少 数 株 主 損 益	-1	-1	-1	0
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 損 益	436	704	391	319

2. セグメント情報

次世代へ快適な環境を

SANIX

(1) 四半期推移

(単位：百万円)

区 分		2020年3月期							
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
S E 部門	売上高	2,355	84.7%	3,250	102.6%	4,262	114.7%	5,326	111.8%
	売上総利益	814	107.0%	1,136	112.3%	1,314	98.6%	1,042	66.0%
	販管費	793	93.4%	858	98.9%	871	99.5%	882	99.2%
	営業損益	20	—	277	193.0%	443	96.7%	160	23.1%
H S 部門	売上高	2,948	108.7%	2,936	105.5%	2,644	102.5%	2,705	101.0%
	売上総利益	1,828	111.7%	1,778	105.2%	1,549	103.4%	1,590	103.0%
	販管費	1,172	110.9%	1,198	116.1%	1,150	111.4%	1,162	114.2%
	営業損益	655	113.0%	579	88.0%	398	85.5%	428	81.2%
E S 部門	売上高	487	117.4%	614	125.3%	482	100.6%	677	125.1%
	売上総利益	253	117.5%	317	123.5%	241	98.1%	376	137.2%
	販管費	212	130.4%	220	122.1%	223	124.9%	250	136.5%
	営業損益	40	77.5%	96	126.8%	18	27.1%	125	138.7%
環境部門	売上高	4,093	112.2%	3,952	108.9%	4,248	123.9%	4,465	130.9%
	売上総利益	1,329	168.6%	1,259	157.6%	1,135	238.4%	1,660	—
	販管費	461	104.5%	472	108.1%	473	109.1%	493	116.4%
	営業損益	867	250.4%	787	217.3%	662	—	1,166	—
エネルギー部門	売上高	2,342	85.6%	2,699	88.0%	2,062	86.5%	2,028	83.8%
	売上総利益	38	28.1%	107	52.6%	155	111.9%	-374	—
	販管費	80	180.6%	96	213.8%	114	207.5%	121	204.8%
	営業損益	-41	—	11	7.1%	40	48.7%	-495	—
配賦不能	営業損益	-919	—	-824	—	-830	—	-878	—

Copyright© SANIX INCORPORATED

20

3. 品目別売上高

次世代へ快適な環境を

SANIX

(1) 四半期推移

(単位：百万円)

区 分	2020年3月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実 績	前期比	実 績	前期比	実 績	前期比	実 績	前期比
太陽光発電システム	2,262	87.0%	3,154	106.5%	4,164	116.4%	5,225	115.6%
太陽光発電システム卸販売	61	53.8%	59	34.3%	64	57.9%	83	47.2%
その他	31	49.6%	36	114.6%	33	125.9%	16	24.8%
SE事業部門合計	2,355	84.7%	3,250	102.6%	4,262	114.7%	5,326	111.8%
白蟻防除施工	1,024	110.8%	966	106.7%	770	97.3%	785	96.1%
床下・天井裏換気システム	557	135.4%	629	137.2%	656	143.3%	654	139.0%
基礎補修・家屋補強工事	517	90.5%	452	83.9%	418	85.6%	492	93.6%
その他	848	105.7%	887	101.0%	798	95.1%	773	89.6%
HS事業部門合計	2,948	108.7%	2,936	105.5%	2,644	102.5%	2,705	101.0%
防錆機器取付施工	250	121.6%	303	133.5%	209	89.7%	360	138.6%
建物給排水補修施工	108	142.5%	107	85.9%	113	90.6%	140	115.9%
建物防水塗装補修施工	32	93.5%	111	245.2%	70	200.4%	79	107.4%
その他	96	97.8%	92	99.8%	89	104.4%	96	112.2%
ES事業部門合計	487	117.4%	614	125.3%	482	100.6%	677	125.1%
プラスチック燃料	2,367	115.3%	2,335	113.8%	2,780	118.5%	2,627	121.4%
発電所売上高	868	106.2%	776	110.7%	567	266.7%	811	216.2%
有機廃液処理	475	116.1%	487	94.5%	510	104.5%	495	91.0%
埋立処分業等収入	248	122.1%	222	127.8%	251	115.1%	400	207.7%
その他	134	81.7%	130	70.6%	137	84.3%	130	97.3%
環境資源開発事業部門合計	4,093	112.2%	3,952	108.9%	4,248	123.9%	4,465	130.9%
売電収入	2,338	85.5%	2,672	87.1%	2,021	84.8%	1,921	79.4%
その他	3	—	26	—	41	—	106	—
エネルギー事業部門合計	2,342	85.6%	2,699	88.0%	2,062	86.5%	2,028	83.8%
セグメント間の内部売上高調整額	-624	—	-518	—	-345	—	-564	—
売上高合計	11,603	98.9%	12,934	101.7%	13,354	106.1%	14,638	107.0%

Copyright© SANIX INCORPORATED

21

4. 販売費及び一般管理費の明細

次世代へ快適な環境を

SANIX

(1) 四半期推移

(単位：百万円)

区 分	2020年3月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実 績	前期比	実 績	前期比	実 績	前期比	実 績	前期比
広 告 宣 伝 費	136	84.2%	61	92.6%	65	110.1%	61	75.4%
貸 倒 引 当 金	-1	-	-14	-	-21	-	-24	-
人 件 費	2,199	108.7%	2,254	110.7%	2,268	111.2%	2,417	118.8%
賃 借 料	234	102.7%	230	98.6%	230	98.0%	232	99.1%
減 価 償 却 費	41	116.2%	44	115.2%	49	155.0%	53	123.0%
通 信 交 通 費	186	107.4%	201	110.5%	205	107.7%	203	113.3%
車 両 費	73	112.8%	77	114.3%	85	116.5%	89	128.9%
そ の 他	769	100.9%	814	105.6%	781	98.7%	756	96.4%
販 管 費 合 計	3,640	105.9%	3,670	108.7%	3,664	107.6%	3,789	111.9%

5. 設備投資額及び減価償却費

次世代へ快適な環境を

SANIX

設備投資額

(単位：百万円)

区 分		2019年3月期	2020年3月期
		実績	実績
S E 事 業 部 門	土 地	—	—
	建 物 等	18	88
H S 事 業 部 門	土 地	—	—
	建 物 等	42	36
E S 事 業 部 門	土 地	—	—
	建 物 等	1	2
環 境 資 源 開 発 事 業 部 門	土 地	—	238
	建 物 等	821	1,972
エ ネ ル ギ ー 事 業 部	土 地	—	—
	建 物 等	1	6
本 社 他	土 地	—	4
	建 物 等	194	392
内 訳 小 計	土 地	—	242
	建 物 等	1,080	2,500
土 地 ・ 建 物 等 合 計		1,080	2,742

主な設備投資は以下の通りです。
(2019年3月期 累計)

- ・書類電子化システム
- ・営業支援システム
- ・有機廃液処理工場

116 百万円
65 百万円
98 百万円

(2020年3月期 累計)

- ・基幹システムに係る設備
- ・有機廃液処理工場
- ・太陽光発電システム (多賀城工場)

276 百万円
257 百万円
115 百万円

6. 事業部門別社員数の推移

次世代へ快適な環境を

SANIX

(単位：人)

区 分	2019年3月期				2020年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
期 中 平 均 社 員 数	1,852	1,864	1,890	1,896	1,991	2,007	2,011	2,009
S E ・ H S ・ E S 事業統括部門	50	54	53	52	60	63	62	63
S E 事業部門	474	450	437	437	437	425	412	406
H S 事業部門	575	601	623	627	660	673	679	683
E S 事業部門	95	99	101	102	125	124	125	123
環境資源開発事業部門	367	372	383	387	396	396	399	398
エネルギー事業部門	14	14	15	16	26	32	38	42
本 社 部 門	277	275	278	275	287	294	295	294